

第3学年3組 保健体育科 学習指導案

指導者 T1 大胡 麻祐子
T2 廣瀬 睦郁

研究主題 生涯にわたって運動に親しむ保健体育学習のあり方 ～学び合いを通してともに高め合う生徒の育成～

1 単元 健康な生活と病気の予防「飲酒と健康」

2 単元について

- (1) 酒は昔から「百薬の長」と言われ、体に良い点もあるが、近年ではアルコールが人体に与える悪影響の方がクローズアップされている。ここ数年は飲酒防止教育により、「一気飲み」で死亡する例は減少傾向にあるが、未だ憂慮すべき状況である。また、ストレスなどから酒を常習的に飲酒することにより、アルコール依存症等の患者数も少なくない。

未成年者の飲酒は厚生労働省の最新の調べで中高生併せて273万人強いることが分かっており、発達段階にある未成年者が飲酒をすると、心身の機能への悪影響を及ぼす可能性が高い。そこで、飲酒に関する正しい知識と、社会環境への適切な対応の重要性について理解することは、将来自らが意思決定、行動選択できる力を身に付けさせるのに適した単元である。

- (2) 生徒数は37名で全体的に明るい雰囲気である。男子は積極的に発表する生徒が多いが、女子の発表は控えめである。本校3年生を対象として「飲酒に関するアンケート」を実施した結果、「飲酒をしている人を見て、あなたはどのようなイメージを持ちますか」との問いに「良いイメージ」は3%、「悪いイメージ」は36%、「どちらでもない」が61%で、約6割の生徒が飲酒に対して悪いイメージを持っていなかった。「これまでにアルコールを口に含んだことがありますか」の問いについては25%の生徒が「はい」と答えた。その理由として多かったのが、「間違っただけ」が33%、「何となく」が22%であった。「その他」の理由として「食前酒として」、「正月におちよこでお酒を飲むことが決まりだから」との内容から、飲酒をする機会が生活の中にあることがうかがえる。

- (3) 以上のことを踏まえて、本単元では、次のことに留意して指導したい。

- ① 身近な話題や生徒が疑問に思っていることを取り上げ、生徒の興味・関心を引き出し、自分のこととして考える手立てとする。
- ② 飲酒の健康影響など、自らの経験や体験の違いにより個人差がある。写真などの資料を提示し、視覚的に分かりやすくすることで知識・理解を深める。
- ③ ペアでのロールプレイングを用いて身近な人から飲酒を勧められたときに、どのようにして断るのかを具体的に考え、学び合うことにより、自己判断能力や行動力を身に付けさせたい。

3 単元の目標

- (1) 飲酒の急性中毒症と依存症について理解するとともに、未成年者の飲酒の健康影響について考え、自分の生活に生かすことができる。
- (2) 飲酒と健康の関係について関心を高め、課題解決に向けて進んで仲間と協力しながら学習することができる。

4 学習指導計画

- (1) 飲酒の健康影響とエタノールパッチテスト・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間
- (2) 未成年者の飲酒の健康影響・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間（本時）
- (3) 喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間

5 本時の学習指導

(1) 目標

- ① これからの自分自身のアルコールとの関わり方について深く考えることができる。
- ② 学び合いを通じて、自分の考えを深め、自らの言葉で表現することができる。

(2) 準備物

ワークシート、掲示用資料、ロールプレイング用お面

(3) 学習指導過程

| 学習活動と学習内容 | 言語活動の工夫 | 教師の支援活動 | | 評価 |
|---|----------------------------|--|--|--|
| | | T1 | T2 | |
| 1 飲酒のアンケートにあった結果について聞き、学級から出た質問等について考え、発表する。 ノンアルコール飲料とフルーツジュースとの違いについて考えてみよう。 | | ○発表が少ない場合は、販売環境などに触れることで発表を促す。 | ○視覚的に分かりやすくするため、イラストを提示する。 | |
| 2 本時のねらいを確認する。 | 未成年者は少しくらいお酒を飲んでも良いのか考えよう。 | | | |
| 3 「未成年者の飲酒」について考え、ワークシートに記入する。 | ☐ | ○分かりやすく説明するために、写真などの資料を提示する。 | ○机間指導をし、考えがまとまっていない生徒には前時の学習内容を確認するよう助言する。 | ○未成年者の飲酒について、考えることができたか。 【思考・判断】 (ワークシート、観察) A 前時の授業を踏まえて「急性アルコール中毒症」、 「アルコール依存症」などのキーワードを押さえて記入することができた。 B キーワードがなくても自分なりの表現で記入することができた。 |
| 4 飲酒を勧められたときに、どのようにして断るのかを考え、話し合う。 | | ○身近なこととして捉えさせるために、新聞記事を活用する。 | | |
| (1) ワークシートに記入し、ペアでロールプレイングを行う。 | ☐ | ○机間指導をし、上手く書けている生徒を称賛することで、更なる意欲向上を促す。 | ○机間指導をし、自分の考えがまとまらない生徒に対して助言を行う。 | ○飲酒を勧められたときに、はっきりと断る方法を考えることができたか。 【意欲・関心・態度】 (観察) A ペアで話し合い、考え、はっきりと断る方法を考えることができた。 B ロールプレイや発表を参考にして、断る方法を考えることができた。 |
| (2) 全体場で発表する。 | | ○意図的指名を行うことで、発表内容が重ならないようにする。 | ○面をつけさせることで、ロールプレイングの役割分担を視覚的に分かりやすくする。 ○意見の中にキーワードを盛り込ませるように、黒板にキーワードを貼りつけておく。 | |
| (3) 発表を聞いて生徒同士が意見交換を行う。 | | | | |
| 5 教師の話聞く。 | | ○これからどのようにお酒と付き合っていくのかを自分のこととして考えられるよう、具体例を示す。 | | |
| 6 ワークシートに本時の感想を記入する。 | | | | |